

難聴は自己判断せず受診しよう

健康診断を受けて異常を指摘されたにもかかわらず放置されやすく、それどころか日常生活に支障が出てもまだ受診のきっかけになりづらい症状として「難聴」があります。

人は聴覚から多くの情報を得て生活しており、聴覚からの刺激がなければ考えることが減り、認知症が発症しやすくなります。耳の機能低下にはいくつかのパターンがあります。健康診断の結果だけで原因を突き止めることはできません。

異常を放置することなく、高齢だからとあきらめずに耳鼻科を受診することをお勧めします。なぜなら診察の結果によっては脳外科など他の科を受診する必要が生じることがあるからです。

難聴に対しては、一般的に補聴器の利用が広く普及しています。最近、目にするが増えた補聴器に骨伝導型補聴器というものがあります。このタイプの補聴器は、本来は高齢に伴う難聴にはあまり効果を望むことができません。

ところが、難聴を理由に病院を受診した患者さんのなかで、この骨伝導型補聴器を使うと、よく聞こえるようになる方もいらっしゃるようです。患者さんのなかには、補聴器の使用や治療が有効であったにもかかわらず、その機会を見逃していたことになり、これはとてももったいないこ



補聴器は耳鼻科を受診してからアドバイスをもらったね

【病院便り】

多古中央病院の受付時間は午前11時30分までとなっています。それ以降は、医師も検査や手術などに対応できないこともあるため、受診前に、必ず確認の電話をお願いいたします。

76-2211

文／国保多古中央病院 内科 宇都宮隆法

まちづくり志民活動助成事業 報告会を開催します

平成28年度

『まちづくり志民活動助成事業』を行っている各団体から、1年間の活動成果の報告会を開催します。当日は、有識者からの講評や助言もいただきますので、来年度申請予定の方やまちづくり活動に興味のある方など、ぜひご参加ください。

日時●3月18日(土) 午後1時30分から

会場●役場2階 第4会議室

平成28年度採択事業	団体名	事業名
	出沼自然を守る会	古民家を活かして、昔の行事の復活と休耕田の美化事業
	NPO 観光・交流・助け合いネット	多古町観光・交流・助け合いネット事業 多古町市民活動国内外情報共有・発信事業
	多古町異業種交流青年会火曜会	多古ベジタブルシリアル事業
	多古町あじさいの会	あじさいを広める事業

多古町まちづくり 志民活動事業を募集

平成29年度

町民の方々が主体となり、暮らしの改善や生きがいと充実感をもって生活できる地域社会を実現するために、まちづくりに志を抱く方々『志民』が自ら企画し活動するための費用に対し助成を行っています。

この制度を活用して、あなたもまちづくりに参加してみませんか。

【申請期限】4月10日(月)

【申請方法】多古町ホームページをご覧になるか都市計画課までお問い合わせください。

【制度の概要】

申請および決定

- ①志民団体から新規事業の提案を受け付けます
- ②第三者組織による審査選考を行います
- ③採択された団体には補助金を交付します

※予算の範囲内での採択となります

補助率および上限額

単独事業…事業経費の90%(上限50万円)
複数団体連携事業…事業経費の80%(上限60万円)
イベント…事業経費の50%(上限50万円)
(※経費からは入場料等の収入額を差し引きします)



お問合せ●都市計画課都市計画係 ☎ 76-5408

芝山鉄道利用者駐車場の場所が変わります

5月31日までは現在の位置で引き続き利用でき、6月1日からは現在の場所から東側に移転する予定です。今後の利用方法や場所については、「広報たこ」や町ホームページ等でお知らせします。

お問合せ●企画空港政策課空港地域振興係 ☎ 76-5409



本の森

私の一冊

『臨床真理』

ミステリー小説が好きで「このミステリーがすごい！」大賞を受賞した作品を読むことが多く、今回紹介する『臨床真理』も読んでみたいと思います。手に取りました。

この物語は、知的障害者への性的虐待や利権といった重たいテーマになっていますが、事件の結末が近づくにつれドキドキが止まりません。

臨床心理士の美帆が、自殺した少女と同じ施設で暮らしていた司を患者として担当するのですが、司には「共感覚」という特殊な能力がありました。司との距離がなかなか縮まらないなか、美帆は司の言動にしっかりと向き合い、寄り添いながら臨床心理士として成長



本植人：木川和枝さん(堂谷)

私は月に4冊程度読んでいて、よく町立図書館を利用します。読みたい本が図書館にない場合でも、取り寄せてくれるのでとても助かっています。これからたくさんの本と出会っていき

たいです。

464目



『臨床真理』
作：柚月裕子
発行：宝島社

〈あらすじ〉

臨床心理士の美帆と、「共感覚」を持つ司が、知的障害者施設で起こった少女の自殺の真相を追う。次第におぞましい出来事が明らかになり…。第7回「このミステリーがすごい！」大賞受賞作品。

今回紹介した本は、町立図書館に置いてあります。リクエストにもお応えしますので、お気軽にご利用ください。
■多古町立図書館 ☎ 79-3406
開館時間：
火～土は午前9時～午後7時
日曜日は午前9時～午後5時
【休館日】毎週月曜日・祝日
年末年始等